

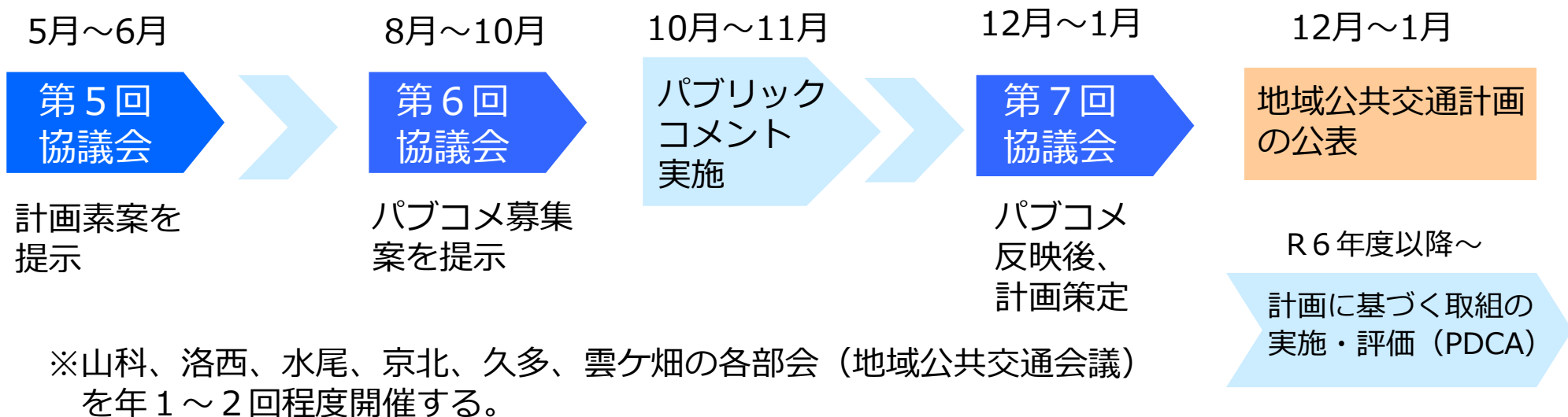
議題

京都市地域公共交通計画の骨子案について（意見交換）

特に御議論いただきたいポイント

- 目指すまちの姿・公共交通ネットワークの在り方
- 現況・課題を踏まえた今後の取組の方向性について
- 行政・交通事業者・市民の役割について

今後のスケジュール（R5年度）



(公共交通の在り方について)

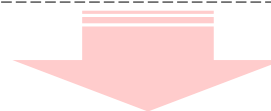
- ・ 京都市の「まちの将来像」、「公共交通ネットワークの在り方」についての議論が必要。
- ・ これまでの利用者数が見込めない中、今の延長線上ではなく、鉄道・バスが連携した新しい交通ネットワークの再構築が必要。

(今後の取組について)

- ・ 「共創」の観点から、さらに事業者間の連携を深めたい。
- ・ 中山間地域の不採算路線の維持が大きな課題。事業者としては地域との連携が重要であり、行政にはコーディネートをしてもらいたい。
- ・ 今、公共交通を利用している人の意見を拾い上げ、利用者の満足度を上げた方がよいのではないか。
- ・ クルマに依存している人達が公共交通に転換できるよう議論したい。
- ・ 市バスと民バスの連携による均一運賃区間の拡大など利用者に嬉しい取組を推進して欲しい。
- ・ 京都市の強みは様々な事業者、交通モードの活用可能性があること、さらには先駆的な地域による熱心な取組が行われていることである。

骨子案の構成

- (1) 計画策定の背景・目的
- (2) 計画の区域
- (3) 計画の期間
- (4) 計画の位置付け（上位計画との関係）
- (5) 実施体制
- (6) 基本的な方針（理念・基本方針）
- (7) 目指すまちの姿、公共交通ネットワークの在り方
- (8) 現況・課題・今後の取組の方向性
- (9) 評価指標と目標設定の考え方
- (10) 取組の事例（イメージ）



R5年度の計画策定
までに肉付け

計画の素案

- 今後の取組（計画の目標達成のために行う事業）とその実施主体、スケジュール等
- 行政、交通事業者、市民の役割を明確化
- 計画の達成状況に関する評価指標と定量的な目標